

羽田空港現場で重機 災害リスクチェック

大成ロテックの西田社長

大成ロテックの西田義則社長は2019年度末労働災害防止強調月間の取り組みの一環として、東京都大田区の羽田空港で施工している現場で16日に安全パトロールを行った。重機災害のリスクをチェックしたり、現場の若手社員と意見交換会を行ったりした。パトロールを行ったのは「東京国際空港N地区エプ

現場を視察する西田社長



ロン他舗装等工事」(国土交通省発注)現場。現場を視察した西田社長は「重機

・車両・人の区画が徹底されていないと死亡災害につながるリスクが大きくなる。重機災害を防ぐために何をするかを考え、決意を持ってやらなければならぬ。道路業界のリーダー企業として模範となる安全管理を行うこと」と現場の社員に訓示した。

パトロール終了後は現場の若手社員と意見交換し、「余暇や趣味も仕事に生かす、自ら成長していくことは大事だ」とアドバイスした。